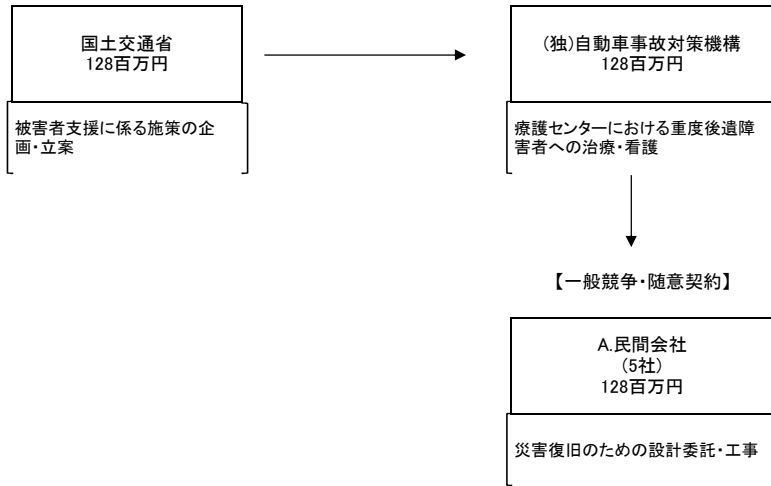


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	独立行政法人自動車事故対策機構 施設整備費(東日本大震災関連)		担当部局	自動車局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年/平成23年		担当課室	保障制度参事官室		参事官 後藤 浩平		
会計区分	自動車安全特別会計(自動車事故対策勘定)		施策名	16 自動車事故の被害者の救済を図る				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人自動車事故対策機構法)		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	自動車事故による遷延性意識障害者(脳損傷により自力移動・摂食が不可能であるなどの最重度の後遺障害者)を受け入れ、治療する専門の医療機関である療護センターの高度先進医療機器等の施設整備を行い、遷延性意識障害のさらなる治療技術の精度向上を図ることにより、自動車事故被害者の支援を図る。 東日本大震災により被災した療護センターに係る復旧を図り、治療看護機能を回復させる。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	本法人が設置・運営する療護センターは、一般の病院では治療が困難な自動車事故による遷延性意識障害者を受入れ、充実した看護体制と専門の治療を行うことで、治療改善効果を上げているが、さらなる治療効果を上げ、被害者救済に資するため、医療機器の整備や各所修繕を行っている。 東日本大震災により被災した東北療護センターの自家発電設備や千葉療護センターの施設の復旧を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-	
		補正予算	-	-	164	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	164	-	-	
	執行額		-	-	128	-	-	
執行率(%)		-	-	78.0%	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	東日本大震災により被災した療護センターの復旧を図り、治療看護機能を回復させるものであることから、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するものではない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	東日本大震災により被災した療護センターの復旧を図り、治療看護機能を回復させるものであることから、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するものではない。		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	-
					()	()	()	()
単位当たり コスト			算出根拠	東日本大震災により被災した療護センターの復旧を図り、治療看護機能を回復させるものであることから、成果目標及び活動指標を定めて実施するという性質のものではない。				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人自動車事故対策 機構施設整備費補助金	-	-					
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	自動車事故による遷延性意識障害者は一般の医療機関では十分な対応がなされておらず、本法人において専門的に治療・看護を行う必要があり、その施設整備については国が支援すべきである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	使途は東日本大震災により被災した箇所の改修に限定されており、また、一般競争入札によるコスト削減を図っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	当該施設の入院患者の生命、生活環境面に悪影響が及ぶことがないよう、真に必要な範囲で迅速かつ的確に復旧等を図るとともに、一般競争入札によるコスト削減を図っている。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	東日本大震災で損傷した施設の復旧は完了しているため、本事業は廃止とする。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	東日本大震災で損傷した施設の復旧は完了しているため、本事業は廃止とする。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○事業仕分け第3弾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B-16 (1)自動車事故防止対策事業、(2)被害者保護対策事業 ・(1)見直し(当面、直接被害者のためになるもの以外は廃止し、「被害者保護対策事業」に集中すべき、バス事業は継続事業の終了をもって終了すべきとの意見もあった。)、(2)見直し(重度後遺障害者への支援に集中し、また、「自動車事故防止対策事業」から「被害者保護対策事業」に予算をシフトするなど選択と集中を行うべき。) 			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

※平成23年度実績を記入



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	東北療護センター 西棟ロビーエレベーション設備更新工事	90			
計		90	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	○	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	高砂熱学工業(株)	東北療護センター 西棟コージェネレーション設備更新工事	90	4	99.2
2	丸善工業(株)	千葉療護センター 構内舗装及び排水設備等改修工事	34	8	70.8
3	(株)アネシス	千葉療護センター 西棟ピット内土砂撤去工事	2	随意契約	—
4	(株)能城総合企画設計事務所	千葉療護センター 構内舗装及び排水設備等改修工事設計図書作成業務	1	随意契約	—
5	翔エンジニアリング	東北療護センター 西棟コージェネレーション設備更新設計図書作成業務	1	随意契約	—
6					
7					
8					
9					
10					